

Block 1-4 期

Tutorial 課題 No. 14

「少ない量で大丈夫？」

(薬物の作用機序と体内動態)

2003

薬理学教室



シート 1

夕方から熱を出してしまった女子医大生の良子さんは、戸棚から薬箱を出してきました。普段無口なお父さんは少し心配そうです。

父「良子、薬箱なんか出してきてどうしたんだい？」

良子「うん、少し熱があるからバファリン®を飲もうと思って」

父「ああ、その薬だったらお父さんも飲んでるよ」

良子「え？熱もないのに？」

父「少ない量で血液がサラサラになる薬だって、お医者さんは言っていたけど」

良子「本当に少ない量で大丈夫なの？」

良子さんは、熱が下がったらインターネットで薬について調べてみようと思いました。

【記事の著作権は出典】

【抽出を期待する事項】

アスピリンの作用、作用機序（解熱作用、抗血小板作用）

（発熱の機序）

（血小板凝集による血栓形成機序）

